

奄美群島

再生 目標

希少野生動植物とその生息地、サンゴ群集等の保全・再生手法の確立

DATA

エリア：奄美群島国定公園
所在地：鹿児島県奄美群島 12 市町村（奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町）
着 手：H15

概要：減少・衰退しつつある希少野生動植物とその生息地、サンゴ群集など、奄美群島の重要生態系地域の保全・再生を調査・検討。



アマミノクロウサギ



サンゴ群集



湯湾岳



奄美群島は、国の天然記念物であるアマミノクロウサギやルリカケス等の貴重な野生動植物の生息・生育する亜熱帯広葉樹林や美しいサンゴ礁に囲まれた沿岸海域など特徴ある多様な自然を有しており、昭和 40 年に国指定湯湾岳鳥獣保護区、昭和 49 年に奄美群島国定公園に指定されました。

しかし、希少野生動植物やサンゴなど学術的、社会的に価値のある自然、人との関わりの中で形成されてきた身近な自然が外来種の侵入等により減少・衰退しつつあります。このため、奄美群島の多様な生態系の保全・再生に向けた取り組みを進めています。



ジャワマンゲース（外来種）



オニヒトデの大発生（サンゴの食害）



死滅したサンゴ

自然再生の手法

- ▶ サンゴ幼生の着床および移植の実証試験→①
- ▶ 希少野生動植物の保全・再生に係る調査

「奄美群島重要生態系地域調査」（平成 15 年～ 17 年）の結果を踏まえ、地域住民と議論を重ねながら、調査方針、調査手順、調査実施方法等を検討しています。

① 着床具を用いたサンゴ移植の検討

サンゴの保全・再生手法の確立に向け、サンゴ再生・復元実証試験などに取り組んでいます。



サンゴ再生・復元実証試験（与論島）